

	福岡県みやま市	秋田県上小阿仁村	熊本県芦北町	茨城県常陸太田市	長野県伊那市	北海道大樹町
時期	H30.11.2～H30.12.21 みやま市役所山川支所	H30.12.9～H31.2.8 道の駅「かみこあに」	H31.1.27～H31.3.15 道の駅「芦北でこぼん」	R1.6.23～R1.7.21 高倉地域交流センター	H30.11.5～H30.11.29 道の駅「南アルプスむら長谷」	R1.5.18～R1.6.21 道の駅「コスモール大樹」
車両	カートタイプ(車両提供者:ヤマハ)				バスタイプ(車両提供者:先進モビリティ)	
ポイント	・高齢者等の生活の足の確保 ・農産物等の輸送支援	・高齢者等の生活の足の確保 ・農産物等の輸送支援 ・地元商店からの商品輸送	・高齢者等の生活の足の確保 ・農作物等の輸送支援	・高齢者等の生活の足の確保 ・自動運転と路線バスとの連携	・高齢者等の生活の足の確保 ・商品配送(スーパー 道の駅) ・ドローンと連携した配送	・高齢者等の生活の足の確保 ・農産物等の輸送支援 ・幹線バスと連携(通学支援等)
空間	・看板、ピクトグラム設置 ・回転灯付看板設置	・看板設置 ・簡易信号設置	・看板、ピクトグラム設置 ・回転灯付看板設置	・看板、ピクトグラム設置 ・簡易信号設置 ・自動運転車両に一般車両通過を伝える情報板設置	・看板、ピクトグラム設置 ・回転灯付看板設置	・看板、ピクトグラム設置 ・回転灯付看板設置 ・停留所に磁気マークを設置し正着制御
ルート	6km	4km	7km	2km	6km	市街地循環:4km 小田地区:12.5km
運営主体	地域実験協議会 (道の駅みやま等)	地域実験協議会 (社会福祉協議会等)	地域実験協議会 (ふれあいツクールバス事業者等)	地域実験協議会 (茨城交通、高倉地域づくりの会等)	地域実験協議会 (白川タクシー等)	地域実験協議会 (社会福祉協議会、雅交通等)
運賃	道路運送法における許可又は登録を要しない運送 ・20円/回	道路運送法における許可又は登録を要しない運送 ・20円/回	道路運送法における許可又は登録を要しない運送 ・10円/回	道路運送法における許可又は登録を要しない運送 ・20円/回	道路運送法における許可又は登録を要しない運送 ・20円/回	自家用有償旅客運送 ・市街地便:100円/回 ・小田地区便:200円/回
運送料	-	無料	無料	無料	-	無料
予約	・窓口を訪問(50%) ・WEB(25%) ・電話(25%)	・窓口を訪問(44%) ・WEB(22%) ・電話(33%)	・窓口を訪問(80%) ・電話(20%)	・窓口を訪問(20%) ・タブレット(75%) ・電話(5%) 住民に予約専用タブレット貸与	・受付で予約(利用登録時)(60%) ・電話(21%) ・WEB(19%)	・窓口を訪問(65%) ・電話(23%) ・WEB(12%)
運行管理	地元コンサルタント ・デマンド:有 ・ロケーションシステム:有	地域ボランティア、地元コンサルタント ・デマンド:有 ・ロケーションシステム:有	地元コンサルタント、地域バス会社 ・デマンド:有 ・ロケーションシステム:有	地域ボランティア、茨城交通 ・デマンド有 ・ロケーションシステム:有	地域ボランティア、地元コンサルタント ・デマンド有 ・ロケーションシステム:有	社会福祉協議会・地域ボランティア ・デマンド:有 ・ロケーションシステム:有(公開)
モニタリング(安全監視)	・運行管理センターで監視(車両位置、車内状況)	・運行管理センターで監視(車両位置、車内状況)	・運行管理センターで監視(車両位置、車内状況)	・運行管理センターで監視(車両位置、車内状況、車両前方状況、バッテリー状況)	・運行管理センターで監視(車両位置、車内状況)	・運行管理センターで監視(車両位置、車内状況)
走行空間	・後続車が追い越すための手動介入が多数発生。 ・看板の認知度:全体の40% ピクトグラムの認知度:全体の25% 回転灯の認知度:全体の20%	・幅員が狭小な箇所待避箇所が不足。 ・除雪業者等と協同して走行空間を確保。	・ピクトグラムで駐車車両回避の手動介入回数が減少。	・専用空間確保方策(看板、簡易信号)は、わかりやすいとの回答多数。 ・対向車のすれ違いが、手動介入の中で最多。	・看板等による更なる周知が必要との意見が全体の58%。	・看板等は、わかりやすいとの回答多数。 ・GPSによる正着制御よりも、磁気マークの方が精度が高い。
運行管理等	・デマンド運行利用者は約1割。 ・乗降をルート上で自由にしたい方が56%。	・定期便とデマンド運行の利用意向は、半々。 ・乗降をルート上で自由としたい方が89%。	・ICカード発行(5回分50円)。 ・デマンド運行利用者の33%が利用意向あり。そのうち42%が満足(便利だった)と回答。	・デマンド運行希望:62.5%。 ・乗降をルート関係なく自由にしたい方が57.6%。ルート上で自由にしたい方が30%。	・約80%がICカードの利便性が高いと回答。 ・予約システムの操作性は、46%が使いに良かったと回答。	・約70%が、QRコード付き乗車カードは「便利」と回答。 ・乗降をルート上で自由にしたい方が49%。
ビジネスモデル	・約3割の方が支払意思額として100円程度と回答。 ・乗車と施設利用を合わせたチケット利用の意向は4割強。 ・運営主体は、関連事業者等の出資による事業体創設を想定	・利用意向は全体の約8割。 ・約4割の方が支払意思額として100円/回と回答。また、約4割が月額1000円/月。 ・運営主体は既存組織を母体とすることを想定。	・約5割の方が支払意思額として約100円/回と回答。 ・サービスの利用意向は週に数回が約3割。 ・運営主体は関連事業者等の出資による事業体創設を想定。	・約6割が支払意思額として1,000円/月程度と回答。 ・5割が週1回以上の利用意向。 ・運営主体は、既存組織を母体とし交通事業者と地域住民が協力することを想定。	・約8割が利用意向(観光目的利用者は約7割が利用意向)。 ・約25%が支払意思額として200円と回答(観光目的では4割が300円以上) ・運営主体は関連事業者等の出資による事業体創設を想定	・約5割が市街地便の支払意思額として100円/回と回答。 ・社会実装時、約4割が利用頻度増と回答 ・運営主体は、社会福祉協議会(各事業者と連携)を想定

検証の着眼点

実験結果